

風景が物語る
瀬戸内の力the Energy of SETOUCHI found in its Scenery
― the Symphony of Nature, History and Human ―

1



2 ©YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery

知らなかった瀬戸内海が今ここに。
初めて見つける瀬戸内のすがた。

3



芸術文化振興基金

SETOUCHI
TRIENNALE
2022

2022.9.23(金・祝) ▶ 11.6(日)

前 期：9.23(金・祝)～10.10(月・祝)

後 期：10.12(水)～11.6(日)

The Kagawa Museum

香川県立ミュージアム

会場 特別展示室、常設展示室4・5
開館時間 9:00～17:00(会期中の土曜日は～20:00) ※入館は閉館の30分前まで
休館日 月曜日(10/10(月・祝)は開館、10/11(火)は休館)
観覧料 一般 1,200円 前売・団体(20名以上) 1,000円
※瀬戸内国際芸術祭パスポート提示で団体料金(9/29～11/6)
※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料

主催▶香川県立ミュージアム 共催▶香川県教育委員会 協力▶NHK高松放送局 後援▶朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、四国新聞社、日本経済新聞社高松支局、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、OHK岡山放送、RSK山陽放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、FM香川、FM815 助成▶独立行政法人日本芸術文化振興会

※新型コロナウイルス感染症の感染予防対策にご協力ください。

Information

イベント

1 講演会 無料・要事前申込 定員100名(先着順) 会場：地下1階講堂

「大地の成り立ちからみた瀬戸内の風景」

瀬戸内海は低い陸地に海が入ってできた天然の生け簀です。大地の成り立ちから、瀬戸内海の独特な風景の成り立ちを見直してみませんか？

日 時：10月2日(日)13:30～15:00
講 師：長谷川修一氏(香川大学特任教授・名誉教授)
申込期間：9月2日(金)～、定員になり次第終了

「くらしが紡ぐ瀬戸内の風景」

自然と人との関わりを示す作品を道しるべとしながら、「瀬戸内らしさ」とはいったいどのような点にあるのか、探ります。

日 時：10月23日(日)13:30～15:00
講 師：上杉和央氏(京都府立大学准教授)
申込期間：9月23日(金・祝)～、定員になり次第終了

2 学芸講座 無料・要事前申込 定員100名(先着順) 会場：地下1階講堂

「瀬戸内を旅する」

古くから交通の要衝として多くの船が通った瀬戸内海。江戸時代の日記を用いて、当時の瀬戸内海を旅した様子を紹介します。

日 時：9月25日(日)13:30～15:00
講 師：川邊優佑(当館学芸員)
申込期間：8月25日(木)～、定員になり次第終了

「画家たちが眺めた瀬戸内海」

明治44年(1911)に画家たちが小豆島に遊んだ旅をまとめた旅行記「十人写生旅行」をひも解き、近代に描かれた瀬戸内の絵画とその魅力を紹介します。

日 時：10月15日(土)13:30～15:00
講 師：窪美西嘉子(当館主任専門学芸員)
申込期間：9月15日(木)～、定員になり次第終了

「讃岐十景と讃岐百景」

「讃岐十景」や「讃岐百景」など、昭和前半期の香川県における風景認識と観光化について紹介します。

日 時：10月30日(日)13:30～15:00
講 師：田井静明(瀬戸内海歴史民俗資料館専門職員)
申込期間：9月30日(金)～、定員になり次第終了

3 ナイトトーク 要観覧券 会場：特別展示室、常設展示室4・5

当館学芸員が「瀬戸内の力」の魅力を紹介します。

日 時：毎週土曜日 18:30～ 40分程度

4 ワークショップ

「瀬戸内ロックバルンシング」 有料・当日受付

瀬戸内を形成するいろんな種類の石をバランスよく積み上げてみよう！

日 時：10月8日(土)、9日(日)、10日(月・祝)
10:00～12:00、13:00～16:00 のいつでも会 場：2階西ロビー
参 加 料：100円

「屋島は物語る」 有料・要事前申込

自然の景色や地形、歴史や人の営みについて解説を聞きながら、特別展で紹介する瀬戸内の風景を、実際に見て歩きます。

日 時：10月22日(土)9:00～12:00
講 師：長谷川修一氏(香川大学特任教授・名誉教授)
対 象：高校生以上
参 加 料：500円 ＊車でお越しの場合、別途駐車料金が必要
定 員：20名(1組3名まで、申し込みが多い場合は抽選)
集合場所：屋島山上駐車場(現地集合・現地解散)
コ ー ス：屋島山上駐車場→談古嶺→屋島北嶺(遊鶴亭)→やしまーる
申込期間：9月23日(金・祝)～10月7日(金)必着

特別展関連企画 「風景が物語る瀬戸内の力」とあわせて楽しむ・知る“瀬戸内”

常設展示室1

瀬戸内泰平―「博物図譜」にみる山野海のめぐみ

9月23日(金・祝)～11月6日(日)

近世博物図譜の精華「高松松平家博物図譜」(香川県指定有形文化財)のうち、昨今、生物学的な調査研究が進められてきた「衆鱗図」(魚類の図)と「衆芳画譜」(植物の図)を展示します。瀬戸内の自然の中にも目にすることができたであろう魚類や植物の豊かなすがたを紹介します。



スナメリ 香川県指定有形文化財「衆鱗図」(高松松平家歴史資料)より

◎ミュージアムトーク 要観覧券
10月8日(土)、10月29日(土) 各13:30～

常設展示室2

瀬戸内の風物―島・港・くらし

9月23日(金・祝)～11月6日(日)

香川県出身の紙版画家 井上眞男(1932～)の作品から瀬戸内の風物を紹介します。井上は昭和49年(1974)から52年まで、各地を取材し、「四国の漁港より」や「瀬戸内シリーズ」といった瀬戸内の港や風物を版画で表しました。瀬戸内の湿気や優しい波音を伝え、どこか懐かしく安らぎを感じる瀬戸内の姿をお楽しみください。



井上眞男 魚を干す 当館蔵

◎ミュージアムトーク 要観覧券
10月1日(土)、11月3日(木・祝) 各13:30～

1 講演会・2 学芸講座の申込方法

電話、はがき、FAX、「かがわ電子自治体システム」(※)を利用したインターネットから。はがき、FAXの場合は氏名、電話番号、講演会・学芸講座の名称を明記してください。

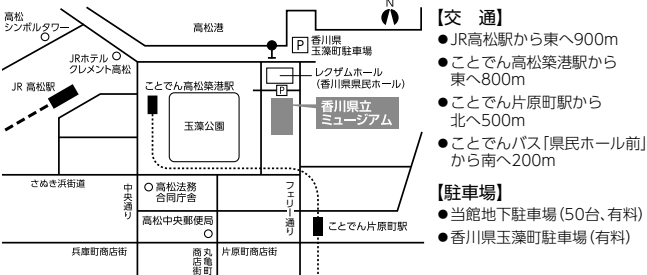
4 ワークショップ「屋島は物語る」の申込方法

往復はがき、「かがわ電子自治体システム」(※)を利用したインターネットから。1組3名まで申し込み可。往復はがきの場合は、氏名、住所、電話番号、ワークショップ名を明記してください。

申 込 先：香川県立ミュージアム学芸課
〒760-0030 高松市玉藻町5-5
TEL：087-822-0247 FAX：087-822-0049※「かがわ電子自治体システム」を利用する場合
香川県立ミュージアムホームページ右下の「関連リンク」から「【香川県】電子申請のページへ」をクリック！

The Kagawa Museum

香川県立ミュージアム

〒760-0030 高松市玉藻町5-5 TEL 087-822-0002(代表)
https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/

一の景 Utopia ユートピア

物語や歌枕、寺社縁起絵には、しばしば瀬戸内が現れます。都人のひとつのユートピア(=理想郷)としてイメージが作られました。



二の景 Nature 自然

穏やかなイメージが定着している瀬戸内も、その地質・地形、海象の特徴から様々な表情を見せ、私たちは特有の自然を再発見するでしょう。

三の景 Life 生活

瀬戸内には港があり、城もあり、村もあります。海を舞台に生きる人々、沿岸部で塩を作る人々、島の畑で働く人々、町で暮らす人々など、瀬戸内の風土に生きる人々の姿を探ります。



12

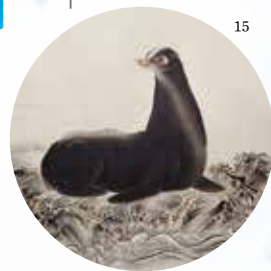


14



風景が物語る 瀬戸内の力

秋の特別展 — 自然・歴史・人の共鳴 —



15

この秋、瀬戸内国際芸術祭2022参加展覧会として、瀬戸内海がメインテーマの特別展を開催します。瀬戸内海は、日本最大の内海として、本州、四国、九州にある11府県の沿岸によって囲まれ、その海岸線の距離は7,230km*（香川―ハワイの直線距離に相当）にも及び、内海に浮かぶ島々は700以上あります。古くから瀬戸内には、多島海の豊かな自然に、人々が積み重ねた歴史や暮らしが溶け込み、自然景と人文景が共鳴した風景が広がります。

関西、中四国の30件以上の所蔵者のご協力を得て、厳選された約100点の絵画だけに的を絞った展覧会です。〈ユートピア〉〈自然〉〈生活〉〈名所〉〈近代そして未来〉の5つのテーマをもとに、中世から現代までの、各地の瀬戸内海の姿を表わした作品が一堂に会し、歴史、民俗、美術、自然など、これまでにない多面的な視点から瀬戸内海の魅力をひも解きます。

*出典「瀬戸内海の概況」
(環境省 せとうちネットワーク) https://www.env.go.jp/water/heisa/heisa_net/setouchiNet/seto/g2/g2cat01/



16



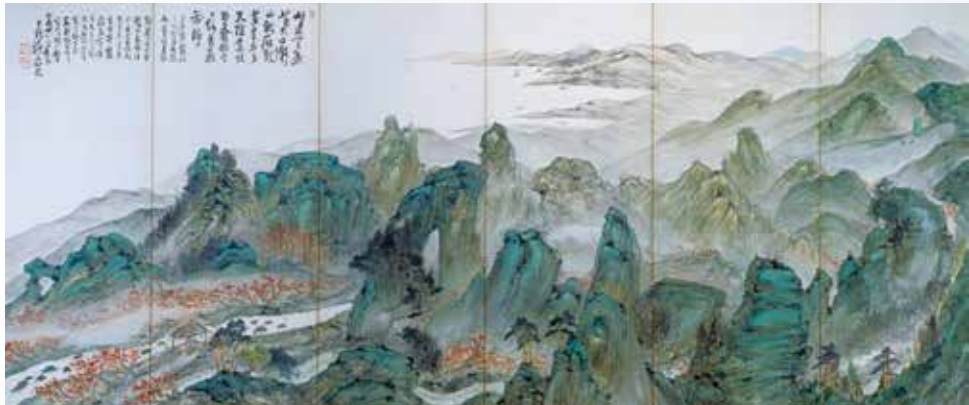
17



18

四の景 Scenic and Historic Places 名所

自然と人々の暮らしや歴史があいまって、“訪れてみたい”“訪れることができる”〈名所〉が生まれました。瀬戸内各地の様子に注目します。



19



20



21



22

五の景 Modern and Future 近現代そして未来

近代以降、表現や技法、画材の多様化、あふれる個性によって瀬戸内の風景もさらに様々な姿が現れます。「世界の宝石」と謳われる美しさだけでなく、自然の脅威もひとつの姿であり、また人々の希望を乗せた未来の姿や空想の瀬戸内も描かれます。



1. 白峯山古図 江戸時代 白峯寺蔵 ●
2. 山口見 鳥瞰金刀比羅圖 平成17年(2005) 大原美術館蔵 ●
3. 瀬上旭江 五畿七道図 南海寄勝之図帖・地 讃岐屋島 寛政8年(1796) 岡山県立美術館蔵 ★
4. 重要文化財 土佐光吉 源氏物語手鑑 須磨一 慶長17年(1612) 和歌山県久保田記念美術館蔵 ●
5. 源平合戦図屏風(一の合・屋島合戦) 左隻 江戸時代 神戸市立博物館蔵 ●
6. 西丈 中国四国名所旧跡図 阿波ナル戸図 江戸時代後期 愛媛県歴史文化博物館蔵 ★
7. 瀬上旭江 五畿七道図 南海寄勝之図帖・天 讃岐五鎗峯 寛政8年(1796) 岡山県立美術館蔵 ★
8. 9. 吉田博 瀬戸内海集 帆船 大正15年(1926) 愛媛県美術館蔵 ●
10. 徳島県指定文化財 守住貫魚 全国名勝絵巻 高松城沖 江戸時代 徳島県立博物館蔵 ★
11. 堀惟賢 網代日記 網入之図其三 天保5年(1834) 個人蔵 ★
12. 大阪市指定文化財 川口遊里園屏風 江戸時代前期 大阪歴史博物館蔵 ●
13. 西丈 中国四国名所旧跡図(部分) ★
14. 堀田風景 No.3.の部分 ★
15. 24. 堀田賢 網代日記(部分) 須磨一 寛政8年(1796) 岡山県立美術館蔵 ●
16. 和歌山古図 江戸時代中期 堺市博物館蔵 ●
17. モックス 日本誌(ドイツ語版) 堺市図 1669年 堺市博物館蔵 ●
18. 池田通邦 昭和六十余州名所 備前縣羽山眺望さめき富士 昭和9年(1934)頃 倉敷市立美術館蔵 ●
19. 富岡鉄斎 富士遠望・寒霞溪園 左隻 明治38年(1905) 京都国立近代美術館蔵 ●
20. 西田眞人 倒壊(下図) 平成7年(1995) 神戸ゆかりの美術館蔵 ●
21. 小野竹斎 冬日帖(部分) 昭和3年(1928) 京都市美術館蔵 ●
22. 藤島武二 五剣山の日の出 昭和7年(1932) 当館蔵 ●
23. 香川県立高松工芸高校美術科生徒の作品 令和4年(2022) ●

【展示期間】 ●全期間 ●前期:9/23~10/10 ●後期:10/12~11/6 ★前後期で場面替があります